

【事業者名称】栄町グループホーム

21年 11月 20日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に基づきケアを組み立てている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関、憩の部屋に掲示している。引継ぎ時に唱和し理念の共有を図っている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホーム便りに理念を掲載している。地域の行事に参加し、共に暮らす場として理解を図るよう取り組んでいる。		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内の散歩、回覧板をまわす等、挨拶や立ち話をする機会が頻回に有る。散歩途中の幼児が玄関に訪れる事も有り話がはずむ。		近隣の方、「ふれあいの館集い」の利用者さんにも、ボランティア訪問時に参加の声かけをしていきたい。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の運動会、敬老の日、廃品回収、春祭り、夏祭り、子供会夏のラジオ体操等、交流している。地域の催し物にできる限り参加している。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	憩の部屋の地域開放や、夏祭りを主催し、地域の方々に喜んでもらっている。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員でチェックし話し合いの場を持っている。意見を取り入れて改善に向けている。		ホーム便りの季刊発行と理念の掲載。理念の唱和により共有を図る。等改善に取り込めた項目あり。
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の定期的開催ができていない。	○	運営推進会議の趣旨を理解し、開催に向けて取り組みサービスの質の向上につなげたい。
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	夏祭り案内やホーム便りを届けたり、オムツ等購入費助成申請を行ったり、介護相談員の訪問を依頼する等連携に努めている。	○	協働出来る事を学び実践したい。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	二名の方が青年後見人制度を利用されている。必要と思われる方には活用できるよう年月を費やし制度の説明をしている。		研修等に参加、更なる理解を深めたい。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加。啓蒙を行い防止に努めている。		一人の職員が対応するのではなく、全員が入居者に対応することでお互いに助け合い、ストレス軽減している。又声のトーン等荒くならないよう申し合わせている。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解、納得していただけるような説明に努めている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	地域の介護相談員の定期的訪問による情報、利用者の言動、会話から思いを汲み取る努力をしている。	○	利用者の重度化により、言葉として通じにくい場面が多々あるが、表情等で汲み取る努力をしている。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月のメッセージ、写真、ホーム便り等の送付、面会の都度報告している。体調変化のある時、報告相談をしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見書、意見箱を設置している。家族会があり、何方も月1回以上の面会があり、意見を聞くことができ反映に努めている。	○	家族会長も運営推進会議の一員であり、思いを出してもらい、反映に努めたい。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	引継ぎ、会議等機会を設け反映できるよう努めている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤帯5～6名の職員が勤務し、柔軟な対応ができるよう、勤務調整に努めている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一事業所で移動はない。やむを得ない場合は、ダメージを最小限にするためケアの継続に取り組む、努力をしている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	公的機関の研修、協議会主催の部会研修に参加。研修報告、専門誌、新聞から抜粋した情報等を報告し合い、リアルタイムに対応している。	○	職員一人一人に対する研修計画の作成。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	彦愛犬協議会グループホーム部会に所属し、月一回の職員交流を全ホームで行い、意見交換しサービスの質の向上に努めている。。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレス対処の研修に参加し、解消法の共有を図ったり、食事会をしたり、気分転換ができるよう取り組んでいる。		業務の合間に交替で休憩時間が取れるよう、取り組みたい。
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	理念の実現に向けて共に取り組んでいる。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいない項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に自宅訪問し本人を交えて話す機会を持っている。訪問時生活様式等現状の把握に努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話相談、見学、自宅訪問、前担当ケアマネージャー等を通し希望や思いを受容し、理解するよう努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、関係者が当方を訪れ、他の事業所も見学し、利用者の納得が得られたら双方で再度話し合いを持っている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなり入居ではなく、家族、介護支援専門員等と共に、お茶やレクリエーションに参加して貰い、徐々に馴染めるよう時間を持っている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事、手仕事、おしゃべり等場面場面で、共に学びあい、共に暮らす姿勢を大切にしている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には、食事やお茶等を一緒にしていただいたり、自室で過ごして頂いたり、本人との外出を喜んだり、共に支えていく関係を大切にしている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の協力の基、地域の行事に参加、新たな情報を頂き実行したり、一緒に参加してもらえよう呼びかけたり、個々のアルバムを作成しお互いの関係を深めあっている。		自作の野菜、本人の好きなお惣菜、母の日にはカーネーション、誕生日には馴染みの店のお菓子を持ってきてくださる等面会も多い。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由な面会、家族との外出、外泊、地域の催しに参加したり、途切れないように開かれたホーム作りに努めている。		お友達が定期的に訪問してくださっている。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の会話を大切にし、出すぎず見守る姿勢を大切にしている。		ある利用者さんの月参りには数名の参加者がある。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了後も希望される家族には、ホーム便りを送付している。		没後、1・2・3年を終えたと、挨拶に来てくださったたり、お互いに思いで話しをし故人を偲んでいる。ホームでは四九日迄お勤めをし、ご冥福を祈っている。
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活の会話の中で思いや希望を汲み取れるよう努めている。		話し合いの困難な人は、表情、振る舞いを見て、家族との連携を密にして利用者本位に努めている。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	コーヒータイム等折りあるごとに回想を楽しんでもらい話題の中から把握に努めている。		家族、本人にセンター方式に記入して貰ったり、他事業所での利用時の状態等聞いたり、自伝を書いて貰ったり、知人に生活歴を聞いたり、把握に努めている。
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケース記録、申し送りノート、日誌等を活用し、職員間の情報伝達により現状把握に努めている。		週1回のミーティングや利用者担当職員を中心にカンファレンスを行い把握に努めている。
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人を交えたカンファレンス、家族等の意向、職員の気づき等を取り入れ、ケアに反映させている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	作成している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、連絡ノート、日誌、サマリー等詳細に記録し、情報を共有ケアに反映している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の希望を取り入れ、受診、買い物、外食、散髪、等要望に合わせ規則に縛られない良さを活かした支援を提供している。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					
Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会、民生委員、ボランティア、保育園、行政等と協力をしながら支援している。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の事業への参加を支援したり、他事行所介護支援専門員の訪問があり、必要に応じている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働し、現在、後見人制度を利用されている。。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近くの開業医と密な関係がとれている。往診もあり、緊急時の24時間体制で連絡、相談ができる。		重篤な人のバイタルを隔週に届け、相談往診につなげている。
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医の診断を受けている。		本人の専門医受診の拒否があり、治療が受けられない場合がある。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	非常勤の看護師が勤務している。また理事の中に、保健師、看護師がおり、健康管理や医療活用の支援を受けている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	適切な支援に努めている。入院時には情報を提供し、入院中も病院、家族と情報交換し、連携を密にしている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	対応可能、困難、不安なこと等職員で話し合い、家族、医療機関と連携を図りながら、情報、方針を共有している。		
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今まで4人の利用者の看取りをさせていただいた。今も重篤な方がおられ、日々かかりつけ医と共にチームとして支援に取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	かつて2人の利用者が特養へ転居したが、十分な話し合いに努めた。		
地域資源との協働 10項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	入室時は必ずノック、声かけし本人の許可を得るようにしている。個人の情報は承諾なしに漏らさない問うの配慮をしている。	○	職員は常に尊敬の念を持ち、声かけの仕方に留意するよう努めている。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その都度声かけて自己決定できるように配慮している。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	コーヒータイム、体操時に希望を聞いたり、相談している。会話の中で本人の意向を汲み取り実現できるよう工夫している。		特に重篤な利用者には、家族、医療機関と連携を蜜に、体調、安心、安全、安楽を常に配慮している。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	美容師の2ヶ月に1度の来訪がある。衣類も一緒に買い物に行ったり、カタログを見て購入したり、個々に支援にしている。		家族が定期的に連れて行かれる人も有る。
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	常に共の生活を意識している。ムース食も、形、色を整え見た目に配慮している。メニュー会議から始まり、利用者の力を活かせる工夫をしている。季節の食材に配慮している。		まごわやさしい、赤、白、青、黄、等食材30品目使うよう日々工夫をしている。重度化に伴う食事形態は家族医療と相談しながら行っている。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一緒に買い物に行ったり、カタログを見て購入したり、楽しみを共有している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	食事、水分、運動、気分等生活全般からアセスメントし、排泄チェック表を共有活用、本人のサインも見逃さないよう配慮している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週6日入浴日があり、柔軟に対応している。脱衣所、浴室の気温、床等危険のないよう配慮、本人に都度承諾を得ながら支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々に自室、ソファにて休息をとっておられ室温、掛け布、音等に、配慮している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の得意とすることを役割とし、家事、手作業、洗濯干し、たたみ、園芸等、張り合い、喜びを持てるよう努めている。		買い物、地域の催し物に参加、ボランティアによる演芸等気分転換が図れる様努めている。自室屋根で、鉢植えを育てている方がおられる。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望で所持している人も居る。外出時は本人が支払っている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	新聞、広告、家族からの情報等により、地域の催し物、外食、自宅に帰る、お参りなど外出を楽しんでいる。		重度の方は、体調に考慮しながら日光浴を行っている。
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節折々に外出を共に計画、実施している。	○	家族と共に、温泉旅行(冬)、韓国旅行(初夏)をされた。皆で温泉に行きたいと希望があり綿密な計画を立てたが、新型インフルエンザ猛威のため実現できなかった。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には対応、家族からの電話には、本人にも話をさせていただくよう取り次いでいる。		2人の人が携帯電話を所持していたが、最近、使用する事がなくなったので、家族等が返却された。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	制限することなく、いつでも自由に訪問して頂いている。お茶を出し、自室、居間等、好きな所で、ゆっくりくつろいでもらっている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束禁止の研修に参加、全職員に周知徹底している。マンパワー確保により、見守り強化、拘束ゼロのケアに取り組み続けている。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠、日中は開いている。洗濯場に昔ながらの鍵をしているが、利用者自身で取り外し可能である。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	配慮している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁、はさみ、針等必要なときには自由に使えるようにしている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険と感じたら職員間で情報を共有する。転倒、窒息、誤嚥、等にはすぐ対応できるように日ごろから研鑽している。	○	研修に参加。消防署、警察、医療等関係機関と連携し必要な訓練を行う。
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に訓練はしていないが、折に触れ研鑽している。日常的に対応が必要な状態にあり、実際対応している。対応マニュアル(参考書)を食堂に設置している。	○	研修に参加。消防署、警察、医療等関係機関と連携し必要な訓練を行う。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火カーテンの使用、火災報知機、消火器の設備あり。近隣に外から入室でき協力していただけるよう依頼している。	○	地域推進会議の活用により、更なる協力体制強化を図りたい。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	月1回の便り、来訪時に状態報告相談を行っている。緊急時には電話連絡する等リスクを共有し対策を話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 7項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定や、表情、声色、歩行状態等から変化を読み取り、職員間で共有している。必要に応じ、家族等、専門機関に連絡している。		むせ、痰のからみ、のど詰り等、食事関係の変化には、特に気をつけている。

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に、個々に保管、用途の確認がすぐ出来る体制をとっている。臨時薬は連絡ノートに書き、薬箱にもメモを付けている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲み、体操、散歩、繊維質多い野菜、海草、果実、水分等の摂取を心がけている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨き、舌ブラシでの清潔、拭き取りを行っている。定期的に歯科医師の訪問健診、治療を受けている。		研修、書物等で口腔ケアの重要性を理解、全職員で共通認識している。
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、10時、外出後、入浴後、おやつ時、就寝前等水分摂取している。個々の嗜好に配慮しながら支援している。		食事以外の水分補給は1日牛乳瓶5～6本を目指している。疾患による水分量を検討、体調不良時にチェックを行っている。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	必要に応じ、手洗い、うがいの励行に努めている。行政からの書類は全職員に回覧、周知徹底に努めている。研修に参加、対応を共有している。		玄関机、食堂、手洗い場等に消毒用アルコールを設置している。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	作り残しはしない。毎回布巾、まな板の消毒をしている。包丁、まな板の使い分け等行政の指導マニュアルに添って管理に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	開放的で生活観の有る玄関周りの環境整備に心がけている。		近所の人が、四季折々、花を届けて下さる。
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に花、ガラス細工、居間に壁飾り、浴室トイレの消臭、特に食堂での雑音、金属音に配慮している。食堂では旬の果物を並べ、畑を見、成長を感じ収穫に行ったり、折々の季節を楽しんでいる。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	トイレの前にソファ、ベンチを設置。居間のソファでは、いねむり、お喋り、テレビと、思い思いに過ごされている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時本人、家族がコーディネートして配置している。家具、写真、仏壇、自身の馴染みの小物等持参して頂いている。		自身で棚の掃除をしたり、屋根で鉢植えを育てている人もいる。職員は植木鉢が落ちないように工夫をしている。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各部屋に温度計、湿度計等を設置し目安にしている。本人に確認しながら、換気、温度調節に配慮している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全、自立、能力等に配慮、その時その人に必要なケアが提供できるよう努めている。		手が届くほどの狭い空間作り、廊下の傾斜、階段、重いドアの開け閉め等、ハード面を活用している。
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	仲間と相談しながらの調理、材料を切る、味付ける、盛り付ける等一連の作業と一緒に喜び、感謝をあらわすよう心がけている。		自室の壁に服、壁飾り、写真、布団等其他者と区別できるよう工夫している。
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑を通っての洗濯干し、天気の良い日には広い玄関先で体操、日向ぼっこ、プランターの手入れ等工夫している。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ○ ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ○ ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ○ ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
—1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3項目/3項目
—2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3項目/3項目
—3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4項目/5項目
—4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7項目/7項目
—5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
—1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4項目/4項目
—2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
—1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3項目/3項目
—2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3項目/3項目
—3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1項目/1項目
—4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	9項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV-1. その人らしい暮らしの支援		
—1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3項目/3項目
—1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6項目/6項目
—1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6項目/6項目
—1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	7項目/8項目
—1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7項目/7項目
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
—2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5項目/5項目
—2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

理念を玄関、憩いの部屋、等に掲示している。毎日の申し送り時に唱和し共有に努めている。家族ボランティア等、来訪者や、地域に出かけ交流した方々に、ホームの役割と理解が広められるよう、口頭で伝えたり日々努めている。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

ゆったりと心地よく生活して頂けるよう開放的で家庭的な生活空間、雰囲気作りに努め、このホームを利用して良かったと思って頂けるよう絶えず心がけている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

定期的なカンファレンスを通じ、個々の状況に応じたきめ細やかなケアが提供できるよう取り組んでいる。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

心身共に重度化が進み、より一層家族、医療関係との連携、連絡相談を蜜に行っている。その人らしさを受け止め、個々に持てる力を発揮して頂けるよう、日々支援していきたい。

V サービスの成果に関する項目について

「笑顔」を合言葉に、利用者の豊かな生活が引き継がれるよう、職員間で連絡、相談、そして共有できるように努めていきたい。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 栄町グループホーム

評価年月日: 21年 11月 20日

前回評価年月日: 20年 11月 30日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
8	1	運営推進会議を生かした 取り組み	H21年12～H 22年3月	メンバーの選定と定 期的な開催		H22 年3 月
69 70 7 1	2	事故、災害対策の充実	H21年12月～ H22年11月	専門機関と連携、防 災訓練を行う。 応急手当、緊急時の 対応の研修(内外研 修)		H22 年5 月
62	3	一人ひとりの外出支援	H21年12月～ H22年11月	外出、外食、仲間と 一泊旅行の実現		H22 年5 月
19	4	人材育成	H21年12月 ～H22年11月	教育計画を立てる		H22 年4 月